



～ 自他共栄～ NO.46

2025年6月12日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 直 部

2025年度夏季手当 妥結！！
基準内賃金×1.73カ月
支払指定日：7月7日（月）

全国の青年部員のみなさん！
職場からの闘いお疲れさまでした！！

JR貨物労組は本日18時より最終交渉に臨み、2025年度夏季手当について『基準内賃金×1.73カ月』で妥結しました。

青年部では、改善が見通せない要員不足と設備の老朽化の中、通常業務をこなした上で、昨年発生した輪軸圧入作業時における不適切事案をきっかけとした各種臨時作業を、大きな事故もなく実直に遂行してきたことを会社に訴えてきました。こうした職場現実に加え、とどまるところを知らない物価上昇によって、青年部員の生活が苦しさを増している実態を会社経営陣に伝えるべく、会社にもけた要請FAXの質的強化(取り組みの質・内容の質)をはかる取り組みを展開していきました。

その結果、第3回交渉で示された「2022年度夏季手当をめざす」という会社の考え方から、昨年を上回る「1.73カ月」まで押し上げることができたのは、全国の青年部員が職場からの闘いをつくり上げた結果です！

会社経営陣は青年部員の生活にもっと目を向けるべきだ！！



- ・米が高い！普段は月1で5kgの米を買っているが、今は値段が下がるまでパン麺生活。
- ・これから子どもが生まれる青年部員が保育園を探していたところ、月謝が6万円かかることがわかり、もっと生活を切り詰めなければならない。
- ・これから酷暑の夏がくるので、電気代や水道代が心配。
- ・家族、友人、恋人から「賃金安いね」と言われてしまった。



このような状況下で、青年部員は2023年度から54億円も収入回復に努めてきた！これから長くJR貨物で勤める青年部員が安心して生活し、安全に業務に邁進できるよう、青年部は職場の声を会社に届ける取り組みをこれからも展開していきます！！

夏季手当の成果と課題を明確にし、さらなる団結力・発信力をもって
次の秋の闘いに臨んでいこう！！